

ペンリレー
「しまなみ海道と、松山城」

甲府21ワイズメンズクラブ 寺田 喜長

大阪府羽曳野市に行く予定が有り、少し足を延ばして今治、松山を駆け足にて走破しました。羽曳野市は丁度ユネスコ遺産委員会が世界遺産登録を審議中で、お逢いした方の中には公民館にて登録決定瞬間を地域の皆さんと喜びたいと勇んで向かわれました。羽曳野市は「百舌鳥、古市古墳群」をはじめいたるところに古墳が点在、墓群の中で生活している様だと言ったら響きを買うでしょうか。翌日山陽道を西へひた走り、尾道よりしまなみ海道へ、尾道大橋を渡り先ず向島へ、向島 IC を降り、国立公園高見山の展望所へ、尾道水道、四国山脈、瀬戸内海に浮かぶ島々が一望、思わず童謡「みかんの花咲く丘」を口ずさむ眺望を堪能、しまなみ海道に戻り、因島大橋、生口橋(いくちばし)、多々良大橋へ、橋のたもとのサービスエリアに車を止め、大橋上を散歩、幾何学的な近代大型建造物をま近に眺め、橋の支柱の下で手を叩くと空に向かい音が反響する「鳴き竜体験」にお歳も忘れて大はしゃぎ。大三島橋、伯方、大島大橋と渡りつぎ、大島カレイ山展望台に挑戦、村上水軍の面影を残した展望台から瀬戸内の早潮を眺めながら昔からの重要海道の面影を偲び、最後の来島海峡大橋を渡り四国今治へ、港近くの活魚料理店にて新鮮な美味しい刺身を食す。7ヶ所、10本の連絡橋は、吊り橋、斜張橋、アーチ橋、鋼箱桁橋と変化にとんだ構造で島々を結び優雅な立ち姿が瀬戸内海に映えていました。

翌日は今治のタオル美術館を見学してから道後温泉へ向かい有名な道後温泉本館にて入浴、道後商店街を散策、駅前の「ぼっちゃん列車」と「からくり時計」を見学し、松山市内に宿泊。翌朝松山城を見学、ボランティアガイドに説明依頼し、じっくりと早朝の城見学、姫路城と同じ連立式天守群の小天守をはじめとする2棟が木造で復元されておりなかなか見ごたえのある城見物でした。大阪城、今治城、松山城の三つの城と、島々を結ぶ大橋、新旧の大型建造物に感動する旅でした。



山梨YMCA便り
活気みなぎる YMCA の夏

山梨YMCA 総主事 露木 淳司

この夏、YMCAの学童保育の登録者は、夏季限定のメンバーを加えて、130名に達しました。今年で最後の夏休みとなる現会館は、すべてのフロア、すべての教室が子供たちであふれ返り、まるで壊さないでくれと最後の悲鳴を上げているようです。早い子は朝8時前から集まり始め、夜は7時過ぎまで親を待つ子供の姿があります。プログラムも、マイクロバスを使って科学館や博物館に出かけたり、流しそうめんやすいか割り、夏祭りを楽しんだり、平和や異文化についての学びがあったり、と盛りだくさん。ひと夏の思い出をたくさん作って、何とか無事に終了してほしいと願うばかりです。わいわい地球塾とサマーキャンプも順調に数をこなし始め、毎日、山へ川へ町へと県内外の自然環境や施設に繰り出しています。特に熱海の海上アスレチックは大人気で2回で80名のメンバーが参加します。そして、やはりこの春から急増した発達障がい児を対象とするきらきら教室のメンバーが、総勢60名加わります。下石田の南西教室と中央市のりんごの木と共に、毎日熱気を帯びています。この数年で子供の数は確実に増加しました。おかげで桃やプラムなど、果物のお裾分けも増えた気がします。この勢いを絶やすことなく、来春からは新会館に移り、今度は乳児から超高齢者、そして留学生や外国籍市民に囲まれながら、FOR ALLの環境の中で子供たちが育つ地域共生社会の実現へと突き進みます。



項目	ニコニコボックス	バザー収益金	クリスマスオークション	切手
目標値	250,000	50,000	50,000円	5,000g
7月の合計	39,536			
7月末迄累計	39,536			0g
達成率	15.8%	%	%	0%

会員在籍者数	33名(2019年8月1日現在)
7月の出席率	
例会出席数	29名
その他出席者数	2名
	合計 31名
31÷33	93%

THE SERVICE CLUB OF Y.M.C.A.
THE Y'S MEN'S CLUB OF KOFU 21

山梨県甲府市中央5丁目4-11
山梨YMCA青少年センター
〒400-0032 TEL 055-235-8543
FAX 055-235-8553

ブリティッシュ委員長 後藤哲夫

国際会長主題: Building today for a better tomorrow
アジア太平洋地域会長主題: アクション! Action!
東日本区理事主題: 勇気ある変革、愛ある行動
あずさ部長主題: あなたの入会時のときめきと多くの経験をワイズのために!
甲府21クラブ会長主題: 『対話と実行』

Jennifer Jones(豪州)
田中 博之(東京多摩みなみ)
山田 敏明(十勝クラブ)
赤羽 美栄子(松本クラブ)
荻野 清

甲府21ワイズメンズクラブ
2019年 8月会報
強調月間 CS

今月の聖句
「わたしの恵みはあなたに十分である。力は弱さの中でこそ十分に発揮されるのだ」
(コリント第二 12章9節) 小野 興子 選

会長挨拶
「対話と実行・・・楽しく、元気に、奉仕しよう!」
甲府21ワイズメンズクラブ会長 荻野 清



7月2日のキックオフ例会に始まり、7月13日の第1回あずさ部評議会(あずさ部第1回こうふ開府500年評議会)のホストとしてのクラブ役割、7月19日から3日間の「第28回アジア太平洋地域大会」への参加と、矢継ぎ早のイベントが終了しました。今回のアジア太平洋地域大会において、清藤IBC委員長、山本メンそしてIPAPナイトで司会を仰せつかった米長メンが、IBCの勧誘に精力的に動いていただき、カナダ、台湾及びオーストラリア等へアタックしていただきました。メールの応答を待っているところです。次月以降のイベント等の確認へと肅々と目を向けだすと、毎日沢山のメールが届きはじり、メール裁きが大変の日々が続いております。

私は、社会福祉事業の「サービス付き高齢者向け住宅」(略称:サ高住)の職に就いております。当職のサ高住は、通常の事業所の3倍強の居住人数で、主に自立的な高齢者が住まわっており、入居者から、「ああしてほしい、こうしてほしい、ご飯がおいしくないから他の業者へ変更しろ、等々」というような我儘的な要求に、耳を傾けている毎日です。また、そのような時に、野々垣直前会長から連絡が来て、食事の誘い(主たるは仕事のお話ですが)があり、現実に戻る感覚が出て来て一息、といったのが現状です。さて、8月のクラブのスケジュールは、3日の「育福福祉センターの納涼祭」支援および20日の山梨YMCA「フクロウキャンプ」支援とあり、その合間に例会があります。15日には楽しい諏訪湖祭湖上花火大会も控えており、煙火師のダイナミックな演出を楽しみにしているところです。

例年8月に行われておりました「納涼例会」は、酷暑等を理由に「ぶどう棚下例会」として9月へ変更をさせていただきました。今回は、勝沼ぶどう郷・ワインの聖地ともいうべき、「勝沼ぶどうの丘」へ開催地を改め、絶景のパーベキュー場所をご用意しました。また、開催日時も土曜日の11時開催予定で、CS委員会がスケジュールを検討しております。

- ~8月例会プログラム~ ●
日時: 2019年8月6日(火) 19:00~
会場: 山梨YMCA 青少年センター
司会: 赤根メン
- ①開会点鐘 荻野 清会長 一同
 - ②ワイズソング・ワイズの信条 小野興子メン
 - ③今月の聖句と一言 荻野 清会長
 - ④会長挨拶 荻野 清会長
 - ⑤ゲスト紹介 荻野 清会長
 - ⑥ハッピーバースデー
 - ⑦ワイズディナー
 - ⑧ゲスト卓話 鐘ヶ江晴彦氏
題目「辺野古新基地建設の特質と現状」
 - ⑨諸報告
 - ⑩YMCAの歌
 - ⑪閉会点鐘 荻野 清会長

鐘ヶ江 晴彦(かねがえ はるひこ)さん

プロフィール
1946年 東京都生まれ
1978年 東京大学大学院教育学研究科博士課程修了
1979年より専修大学文学部専任教員
2017年定年退職し、専修大学名誉教授専門 人権問題の社会学、沖縄の反基地・平和問題の社会学的研究
2004年4月から1年間のサバティカルで沖縄に赴いてすぐに辺野古の座り込みが始まり、それに参加しながらの社会的データ収集を開始する。以来、辺野古新基地建設反対運動の研究を続けたが、定年退職を機に名護市に移住してほぼ毎日運動に参加している。

HAPPY BIRTHDAY IN AUGUST

メン	メネット	敬称略
興水 順雄 8/6	相川 泰代 8/8	
駒田 勝彦 8/6	佐藤 すみ 8/19	
小野 興子 8/27	後藤 征子 8/30	
	山縣 洋子 8/30	

2019年度キックオフ例会報告

寺田 喜長

日時 2019年7月2日(火) 18:30~
開場 岡島ローヤル会館
特徴あるお座敷キックオフ例会として長い間「割烹石川」にて開催してきましたが、収容人数オーバーとなり発展的条件にて会場を岡島ローヤル会館に変更となりました。石川様には長い事お世話になり感謝です。

昨年に続き入会式を織り込んだ年度初めの例会には赤羽あずさ部長公式訪問にてご臨席頂き、日本区、あずさ部、山梨YMCA職員及び関係者、会員の友人等15名のゲストを含め50数名の出席者数で開催されました。

第一部総会にて事業報告、決算報告、新役員承認の議題を審議、承認。

野々垣会長より承認されました荻野新会長に会長バッジを伝承し荻野年度が船出、事業計画、予算案を審議、承認を頂いて総会終了。

続いて駒田あずさ部会員増強事業主査の進行で野々垣和宏さん、山本俊一さんの入会式を執り行いました。赤羽あずさ部長、札苙東日本区EMC事業主任、その他にも栗本氏、大川氏、板村氏の東日本区要職のメンの立会を頂く中、お二人が力強く入会宣言をされました。第二部懇親会は、第一部に続き米長メンの司会にて開会、荻野新会長挨拶、続いて栗本治郎東日本区change2022委員長の挨拶、お二人の新会員からも入会の挨拶をして頂きました。松村禎夫メンの食前感謝の祈り、大和田あずさ部地域奉仕事業主査の乾杯にて食事、懇親に入り、アピールタイムでは元JICAボランティアケニアOB松本公夫様からケニアでの活動、現地の様子等のお話をして頂きました。7月誕生者を祝い、佐藤監事の中締めの挨拶にて第二部のめとなりました。

尚、札苙東日本区EMC事業主任が東日本区ホームページにChange!2022ニュースとして「甲府21クラブ訪問」を投稿くださいました。(別掲参照)



会長バッジを引き継ぐ



来賓 赤羽あずさ部長の言葉



松本公夫さんによる「ケニアの昨今」



Change! 2022 ニュース No.1
JAPAN EAST REGION
Change! 2022 増強委員長 2019. 7. 15 発行

▼ 新年度早々に続々入会式

会員増強事業主任

札苙慶一(熱海)

2019年7月2日、甲府21ワイズメンズクラブのキックオフ例会、並びに入会式に、板村哲也次期理事、栗本治郎 change! 2022 委員長、大川貴久同書記と共に参加。無事新年度、東日本区会員増強事業主任として初仕事を果たさせていただきました。

甲府21クラブは、YMCAとの相互互換関係が活発で大変元気のよいクラブ。7月2日現在、2名の入会者・山本俊一さん【写真左下】、野々垣和宏さん【写真右下】を加えて34名のスタートとなりました。



その後、2次会会場で入会候補者が数名招待されている中で、2

名が入会希望に手を上げられ入会確定となりました。昨年度EMCのMC部門最優秀賞クラブはさすがに活気があり、現在の目標は40名ということですが、オンリーワンワイズとして100名を目指す大変頼もしい限りのクラブで、来年には30周年を迎えます。野々垣健五直前会長が核となり、目を行き届かせているのが印象的でした。

「あずさ部評議会・アジア太平洋地域大会の活動報告」

甲府21ワイズメンズクラブ副会長 米長 晴信

7月13日。膝の手術で入院中であつた私が松葉杖で登場するという前代未聞の司会でしたが、皆様の暖かいサポートのおかげで無事努めを果たすことができました。甲府市の樋口雄一市長が来賓としてかけつけてくださり、甲府開府500年にふさわしい第1回評議会となりました。

懇親会は「歓談」の時間がたっぷりとってある(出し物に時間を割かない)シンプルな形式でしたが、司会として会場を見渡すと皆様会場を所狭しと挨拶して回られ、あずさ部11クラブの結束がさらに強まる様子を伺うことができました。

終了後、入院先の国立甲府病院に直帰しました。



7月19日。退院後2日目。表記の国際大会に初めて参加させていただきました。クラブから参加料等も援助していただき、貴重な経験をすることができ、改めてこの紙面をお借りして感謝申し上げます。

私は夕方の晩餐会の司会をたんぼぼクラブの小原史奈子メンと努めさせていただきました。国際大会ということで初めて英語での司会でしたが、小原さんのお気遣い等により滞りなく役を果たすことができました。とはいえ、開始直前、「俺の息子が日本人に拉致されている！お前ら、社会貢献の団体が会を開く資格はない！」と半狂乱で叫ぶ外国の方の乱入で会場は一時騒然となりましたが、予定よりも10分遅れで何事もなかったかのように始めさせていただきました。この騒動で却って緊張がほぐれました。

会の冒頭、仙台出身のフォークシンガー、さとう宗幸さんによる特別ライブで盛り上げていただき、非常によい晩餐会となりました。

7月20日。4組に分かれ、被災地視察を行いました。私は第2班(石巻等)に参加しましたが、乗車しているバスで通訳を申し出て、終日外国の皆様のアテンドをさせていただきました。バスで隣りに乗り合わせたMatthewさんというオーストラリアの方とご家族の皆様とは特に親睦を深めてまいりました。特にご両親の方からは、「あなたがいたのでとても意義深い視察となりました」と感謝の言葉をいただきました。

晩餐会。当クラブがオーストラリアとIBC締結を探っているということで、早速荻野会長に「オーストラリアの方と仲良くなったのでお願いに行きましょう！」とテーブルを訪れ、Matthewさんの元に。一行の中で相談相手を尋ねたところ、私の母がいいよとのことで、ご挨拶に行き名刺を交換したところ、何とそのおばあちゃん国際会長のJennifer Jonesさんでした(私はそれまでずっと、Matthewさんに同行している家族かと思っていました)。ということで、「IBCはまず私のクラブに持ち帰ります」と快く引き受けていただくことができました。



第28回アジア太平洋地域大会報告

甲府21ワイズメンズクラブ 清藤 城宏

アジア太平洋地域大会が、2019年7月19日~21日の3日間、仙台国際センターにて海外15カ国が168人、東日本区273西日本区269来賓3 合計713名のYSメン、メネットが集まりおこなわれた(甲府21より8名参加)。今大会のテーマは「Action! 前へ進もう」。「東日本大震災」により仙台を始め東北地方を中心に被災した方々が、共に助け合い復興のために活動をされている現状を直接見聞きすること、そして今後、我々に何が出来るのかを考え、行動に移して頂きたいという願いを込めて開かれた。

第一日は午後1時パナー入場後、田中博之アジア太平洋地域会長の開会宣言・点鐘で開会。宮城県知事・村井 嘉浩氏より「東日本大震災からの復興と防災への取り組み」の講演、続いて危機管理教育研究所の国崎 信江氏「あなたと子どもを災害から守る方法」と題して具体的災害時の行動方法などが語られた。夜の晩餐会は、我がクラブ米長メンの流暢な英語司会により行われ、仙台出身の歌手さとう宗幸ミニコンサート、代表挨拶乾杯となり和やかな国際交流の時間を過ごした。翌日2日目は、ハイライトの一つ、4か所の被災地を訪問する一日ツアーが実施された。地域がどのように再建されているのか、そして未だ存在している課題は何かを見聞きし、被災地の理解を深めつつ、復興の状況と現在と今後の課題を共有し



荒浜小学校・津波の傷跡 3階まで到達している。

あった。3日目は、日曜礼拝の後IBC/DBC締結式、国際表彰が行われた。続いて国際・アジア報告、次期開催国のプロモーション、大会閉会点鐘をもって11時30分閉会した。

災害の時にYSとメネットが出来ること、そしてYMCAと共に協力できる方法について考えるよい機会となった。オーストラリア、フィリピン、カナダ、デンマーク、台湾のYsにIBCを探していることも伝えた。



3日目のIBC締結式



薬袋さん 駒田さん、佐藤さん、清藤さん、荻野会長、荻野さん